

令和6年2月26日

第564回益田市議会定例会

令和6年度  
教育行政の取組について

益田市教育委員会



第 564 回益田市議会定例会の開会にあたり、ただいま市長が、令和 6 年度の市政運営にあたっての所信を述べられました。

私からは、この施政方針を受け、令和 6 年度の教育行政の概略を申し上げ、市民の皆様並びに市議会議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

## 学校教育について

- 理系人材の育成を図るため、島根大学や松江工業高等専門学校と連携し、小中学生を対象とした「算数・数学パワーアップ教室」を実施します。
- 令和 5 年度より中等教育の充実を図るために実施している「中高連携学力育成推進事業」については、さらに内容の充実を図っていきます。
- 子どもたちの教育の充実を目的とした教職員の働き方改革を推進するため、現在、小中学校 6 校に配置しているスクールサポートスタッフを 9 校に配置します。また、市内小中学校における勤務時間外の電話対応については、教職員の長時間労働の要因の一つとなっているため、留守番電話を設置します。
- 現在、学校教育の一環として取り組まれている部活動については、社会教育に移行することとし、令和 6 年 2 月に策定の「益田市学校部活動の地域移行に係る基本方針」に基づき、学校単位から地域単位での活動等に段階的に移行していきます。

## 教育施設等の整備について

- 教育環境の充実を図るため、令和 6 年度は中学校のトイレの改修

に着手し、高津中学校、東陽中学校、中西中学校の改修を行います。また、益田小学校をはじめとする小学校における老朽化した教具や遊具の更新作業を引き続き計画的に実施します。さらに、学校施設の安全確保を図るため、益田中学校の渡り廊下を改築します。

- 老朽化が進んでいる豊川公民館については、これまで以上に小学校等と連携できる拠点施設として整備を進めてまいります。また、西益田地区の公民館についても、将来的な活用の方向性を踏まえた整備について検討してまいります。
- 歴史・文化資源の保存・活用のため、令和2年3月に国の追加指定を受けた中須保育所跡地の公有化を行います。また、三宅御土居跡のさらなる利活用を図るため、主郭部西側の造成工事の整備を進めます。
- 老朽化が目立ってきている「益田市立雪舟の郷記念館」を改修するため、「雪舟の郷記念館整備事業」を実施します。改修にあたっては、文化施設機能に「歴史文化研究センター」機能を加え、中世にかかる調査、研究機能の強化を図ります。

## 社会教育について

- ライフキャリア教育の推進にあたっては、引き続き「益田市未来の担い手育成コンソーシアム」の構成団体と連携を進めてまいります。また、今まで多様な世代による対話プログラムとして取り組んできた「益田版カタリ場」については、令和6年度から「対話+（タイワプラス）」に名称を変更し、取組を充実させます。

- 本年 11 月に開催する「第 31 回全国山城サミット益田大会」を通して、七尾城跡を含む日本遺産の魅力発信と地域への愛着と誇りの醸成を図ります。
- 2030 年に開催が予定されている「第 84 回国民スポーツ大会」及び「第 29 回全国障害者スポーツ大会」を見据え、大会準備室を設置し、機運醸成に結び付けます。

以上、教育行政として取り組む主な施策を申し上げました。各施策を実現していくために、関係者及び関係機関の理解と協力を得て、教育行政の公正かつ適切な運営に努めてまいります。また、益田市総合教育会議の場で、市長と教育委員会が十分に意思疎通を図り、より充実した教育行政となるよう取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。